

○泉佐野丘陵緑地 H26中地区開放に向けた検討 ～広報計画（案）について～

■当公園の特徴

- ・府民、企業（大輪会）、大学、行政の協働による「新しいスタイルの公園づくり」

■方針

- ・公園づくりに参画する全ての関係者のネットワーク、ツールを最大限に活用した広報媒体の充実、活用
- ・関係者、公園利用者、双方向のコミュニケーション強化による公園ファンの拡大
- ・PDCAによる広報メニューの見直し



○本日の論点
 ①当公園の特徴を最大限に活かすために、留意すべき点は何か？
 ②新たな連携等の手法、方策はないか？

（メニュー及びスケジュール）

項目	内容	ポイント（論点）	備考
①公園名称の公募	<ul style="list-style-type: none"> ・誰からも親しみやすく、愛着があり、公園の特徴が分かりやすく表現された名称が必要 ・みんなで作るコンセプトから公募 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報媒体と配布先 ・公園の情報を応募者にどう伝えるか？ ・行政からのPRにとどまらず、関係者の個別ツールなどの活用も積極的に 	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会を選定委員会とする ・H25.12月の決定を目指し、各種広報媒体へ反映 <p style="text-align: right;">→別紙参照</p>
②リーディング区域 棚田の活用公募	<ul style="list-style-type: none"> ・公園エントランス部のシンボル施設として積極的に開放 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者について（パーククラブ以外にも、地元、学校、企業など外部団体の活動フィールドを想定） ・公園の顔としてH26開放時の整備状況は？（大阪府にて工事実施予定 土壌整備、播種等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・H26年度以降はプログラムとして活動団体を公募 ・H25年度はその募集要綱を検討
③パンフレット作成	<ul style="list-style-type: none"> ・行政、大学、協賛企業との共同による公園PR 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学、大輪会企業PRなど、これまでの枠にとらわれない内容構成を検討 ・発注の方法（デザイン企画はコンペ方式なども検討） 	<ul style="list-style-type: none"> ・H25年度末完成予定 ・大輪会の支援により作成
④ホームページ作成	//	<ul style="list-style-type: none"> ・公園PRだけでなく、公園関係者、利用者、相互のコミュニケーションツールとしても活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・H25.12月開設予定 ・大輪会の支援により作成
⑤オープンイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・H26年春、現地にて開催予定 ※詳細時期は未定 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーククラブ活動とあわせ、段階的に地域、関係者との連携強化 ・単発イベントではなく、継続を前提としたプログラム 	<ul style="list-style-type: none"> ・H25. 6/9ササユリ鑑賞会 ・H25. 8/4地域と語る会 ・H25. 11/30 一般開放イベント
⑥協賛企業のさらなる参画	<ul style="list-style-type: none"> ・パーククラブ活動における企業支援の機会拡大とPR ・企業特性を活かした参画プログラムの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なパーククラブ活動への多様な支援展開（物的支援、技術的支援、人的支援など） ・企業としてのメリット（企業CSR活動としての位置づけ） ・公園プログラムとしての企業参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・大輪会加盟53社に対する意向調査の実施